

令和7年度（2025年度）

さいたま市地域医療研究費補助事業報告書

研究題目：

女性のライフステージにあわせた市民検診の利用啓発

～大宮医師会乳がん・子宮がん検診委員会、さいたま市薬剤師会協働事業～

研究組織：乳がん検診委員会* 子宮がん検診委員会# さいたま市薬剤師会\$

研究代表者：甲斐 敏弘*（新都心レディースクリニック・院長）

共同研究者：菅又 徳孝*（マンモエクスサス菅又クリニック・院長）

齊藤 毅*（新都心レディースクリニック）

尾本 きよか*（自治医大さいたま医療センター・総合第一講座教授）

柴田 裕史*（さいたまセントラルクリニック）

林 正敏#（大宮林医院・院長）

上森 照代#（彩の国東大宮メディカルセンター・婦人科医長）

安部 まさき#（なのはなレディースクリニック・院長）

野田 政充\$（さいたま市薬剤師会）

長谷部 忠史\$（さいたま市薬剤師会）

桐生 寛一\$（さいたま市薬剤師会）

研究協力者：蒲池 清泉（さいたま市民医療センター）

目次

1. 研究題目
2. 背景と目的
3. 準備作業
4. 対象と方法
5. 結果
6. 考察
7. 結語
8. 文献
9. 図表（2025年度報告書（図表））
10. 別添資料（2025年度別添資料）

1. 研究題目

女性のライフステージにあわせた市民検診の利用啓発

～大宮医師会乳がん・子宮がん検診委員会、さいたま市薬剤師会協働事業協働事業～

2. 背景と目的

さいたま市の健診・検診においては結果の説明は対面で行うことが原則である。大宮医師会乳がん検診委員会で2022年度、2023年度と行ったさいたま市地域医療研究費補助事業では対面で「マンモグラフィ乳腺濃度」を通知することによってプレスト・アウェアネス啓発に一定の効果があることが認められた^{1, 2)}。この対面で結果説明をする機会を利用して個別に啓発すること、そして詳細な情報はホームページやYouTube動画で提供できるようにすることは啓発方法の一つとして現実的なものと思われる。

この対面での説明の効果を期待し、2024年度において大宮医師会乳がん検診委員会と子宮がん検診委員会では、共に相互のがん検診啓発のために協働事業を行った。このような異なる診療科の異なるがん検診を相互に啓発するのは初めての試みで、体制構築とともに両面印刷のチラシ、解説のためのホームページ・インスタグラム作成、YouTube動画作成などの啓発資材を作成し活動を行った³⁾。

この啓発活動には一定の効果が期待できるものの、実際の効果の検証には未だ時間を要するものと思われる。

また、この事業はあくまでも検診受診者を対象とした活動であり、新たな課題として検診を「受けたことのない人」、「めったに受けない人」、「分かっているがただ何となく

受けない人」への啓発にはなっていない点がある。これら『未受診者』、『非定期的受診者』を、どうやって『定期的受診者』になってもらうかは大きな課題である。

この課題解決の一つの方法として、検診に直接的には携わっていない立場の人達から、検診を受診した人達以外へ啓発する方法があるのではないかと考え、さいたま市薬剤師会の協力を仰ぎ、検診受診の有無に関わらず薬局を利用している市民を対象としてこれまで作成してきたチラシ等の配布を行ってもらいその効果の検証を行った。

3. 準備作業

乳がん検診委員会、子宮がん検診委員会の啓発活動の資材等は 2024 年度のものを踏襲し、チラシ、HP、Youtube、インスタグラムの内容は若干の更新作業のみを行った（別添資料 1、2、3、4）。

また、今回は検診受診者に「受診時アンケート調査」を行うこととした（別添資料 5）。これは今回の事業の効果確認というよりも、経年的調査を行ううえでの基礎資料となることを想定している。

薬局においては、チラシを掲示していただくと共に、新たに小チラシを作成し、薬品を手渡すときに、性別や年齢の区別なく小チラシも併せて手渡してもらうようお願いした。小チラシは研究者 5 名の案についてコンペティションを行い、研究協力者である蒲池案を採用した（別添資料 6）。ご協力いただく薬局は旧大宮市管内（大宮区、西区、北区、見沼区）の 134 薬局となった。

今年度は検診施設においては受診時アンケートを行う事、薬局においてはチラシの掲出と小チラシ配布を行うため、検診施設の受付職員や薬局職員への周知が必要で、説明資料配布と説明動画 URL を予め配布するとともに 6 月 25 日に検診施設・薬局を対象とした説明会をハイブリッドで行った（別添資料 7）。

なお、検診施設や薬局の職員については、今回の事業による通常業務圧迫の程度について Microsoft Forms を使い意見を募集した（別添資料 8）。

4. 対象と方法

対象は 2025 年 7 月から 12 月までにさいたま市乳がん検診、子宮がん検診を受けた受診者。検診を行った施設は、乳がんおよび子宮がん両者は 5 施設、乳がん検診のみ 16 施設、子宮がん検診のみ 16 施設、薬局は 134 施設。

チラシ（A4 版）は検診施設と薬局に全体で 1 万 1 千枚を配布。薬局用の小チラシ（A5 版）はさいたま市薬剤師会の事業として「区民祭り」での配布もあり、全体で 3 万 2 千枚を配布した。

検診受診者には受付にて受診者アンケートを配布して検診開始前に回収した。

検診結果説明時には、2024 年度と同様に対面でチラシを手渡しし啓発内容を説明した。

チラシは両面印刷で、内容は①乳がん検診、②ブレスト・アウェアネス、③子宮頸がん検診、④子宮頸がんワクチンの説明、⑤女性のヘルスチェックの概略を含むもので、詳細は二次元バーコードからホームページや Youtube 動画、インスタグラムに誘導し詳細情報を提供するようにした。

受診者への説明は、乳がん検診受診者には主に②、③、④、⑤を、子宮がん検診受診者には主に①、②、④、⑤を説明するようにした。

本事業の効果を判定する目的で、受診時アンケートにおける受診のきっかけの設問の「検診施設のチラシを見て」、「薬局での張り紙、チラシを見て」、「かかりつけ医に勧められて」と回答した人達を『効果判定対象者』、それ以外を『非対象者』として、また、前検査歴が1、2年である『定期的受診者』、3年以上の『非定期的受診者』、『初回受診者』の3群に分け相互の関係について検討した。

5. 結果

①2025年度検診受診者数（7月～12月）

乳がん検診受診者 6,125 人、子宮がん検診受診者 9,708 人である。月別の受診者数を見ると受診者数の変動は各年度も類似しており、また乳がん検診については 2023 年度とほぼ重なっている（図 1、2）。

②ホームページアクセス数、YouTube 動画再生件数の推移

ホームページのアクセス数は 7 月 1 日からの 6 か月間で乳がん 516 回、子宮がん 513 回であった。また、ブレスト・アウェアネス解説動画の再生件数は 57 回であった（図 3）。

③受診時アンケート調査解析

受診時アンケートは 8,162 件。殆ど大宮医師会管内からの受診で年齢分布は 50 代を中心になだらかな分布をしている（図 4、5）。検診項目は乳がん検診 4,077 名、子宮がん検診 5,454 名であった（図 6）。

検診受診のきっかけに関する質問（複数回答）では「毎回受けているから」3,680 件、「市からハガキがきた」3,503 件と圧倒的に多く、今回の受診者は多くは『定期的受診者』であることが分かる（図 7）。

今回の検査の前の検診受診（市民検診、職域検診、人間ドックに関わらず）も乳がん検診、子宮がん検診共に 1 年前、2 年前に受けている人達が 75%を占めており、『定期的受診者』が多いことが分かる（図 8、9）。

③効果判定対象者、非対象者の比較

検診受診のきっかけを「検診施設のチラシを見て」、「薬局での張り紙、チラシを見て」、「かかりつけ医に勧められて」と答えた『効果判定対象者』とそれ以外の『非対象者』は、乳がん検診受診者で 167 名と 4578 名、子宮がん検診受診者で 355 名と 4812 名で、効果判定対象者数は圧倒的に少ないものの、乳がん検診受診者、子宮がん検診受診者共に、『非定期的受診者』が有意に多いことが分かった（図 10、11）。つまり、効果判定対象者には、もともと『非定期的受診者』であったものの、本事業において検診受診を促した可能性が考えられる。特に「かかりつけ医に勧められて」とした人達には 2024 年度の本事業受診者も含まれている可能性がある。

④プレスト・アウェアネス、乳がんの高齢化の認知度

乳がん検診に関するブレスト・アウェアネスや乳がんの高齢化は一般への認知度は低い。これらの認知度について『定期的受診者』とそれ以外との比較を行った。共に認知度は低いものの『定期的受診者』の方が有意に認知されていることが分かる（図 12、13）。

『定期的受診者』は元々意識が高いこともあるが、検診機会によってこれらの情報がさらに刷り込まれるものと思われる。

⑤HPV ワクチン、子宮頸がんの若年発症とワクチンと検診で予防できることの認知度

子宮がん関連の設問では「HPV ワクチン」のこと、「子宮がんは 20 代でも発症すること」、「子宮頸がんは HPV ワクチン接種と定期的な検診で予防できる」ことは 90%以上の人達が認識していることが分かった。これは子宮がん検診受診者の 75%が前回 1 年前、2 年前に検診を受けている『定期的受診者』であることが関連しているかも知れない。

⑥検診施設職員、薬局職員アンケート（Microsoft Forms）

検診施設職員からは 50 件の回答があり、82%は通常業務を圧迫していないと回答している（図 14）。

薬局職員からは 128 件の回答があり、小チラシを手渡しすることに 40%の人は負担を感じ、来店者からの反応や質問を受けることが 25%程度経験したとの回答であった（図 15）。そして、がん検診への関心の薄い人達が大変多いこと、数は少ないものの小チラシの効果があったこと、薬局職員にはある程度の質問に対応できる知識や Q&A 集を準備しておく必要性が明らかになった。さらに薬剤師会として今後がん検診啓発に協力していきたいとの意見があった。

6. 考察

2024年度に引き続き乳がん・子宮がん検診受診者に対面で相互のがん検診啓発を行った。異なるがん検診担当者が相互の啓発を行うことには一定の効果があると思われるものの、がん検診未受診者や熱心ではない人達の掘り起こしという点では限界があり、がん検診に携わっていない施設からの啓発などの展開が必要ではないかと考えている。

その立場から2025年度はさいたま市薬剤師会のご協力を得ることができ、薬局職員からの啓発を行ったことで、一定の効果があったのではないかとと思われる。

受診時アンケートをみると、多くの受診者が『定期的受診者』であって、「毎回受けている」、「市からハガキがきた」から検診を受けていることが分かった。一方、少数ながら、「検診施設のチラシを見て」、「薬局での張り紙、チラシを見て」、「かかりつけ医に勧められて」と回答した人達がいることが分かった。これは2024年度、2025年度の本事業によって検診受診を促された人達の可能性があり、『効果判定対象者』としてその他の人達と比較した。それによると、乳がん検診も子宮がん検診も『定期的受診者』は有意に少なく、『非定期的受診者』に検診受診を促した可能性が考えられた。これまでの相互の検診啓発、薬局からの啓発に効果が見込める可能性を示したと考えている。乳がん検診も子宮がん検診も隔年検診であり、2024年度の活動の成果についてはさらに2026年度受診時アンケート調査が必要であると思われる。

一方で、がん検診に直接携わっていない薬局職員についてはある程度の負担をかけることになっている。がん検診や癌そのものの詳細については、来局者自らホームページ等

で理解を深めてもらう形にしているが、薬局職員のアンケートでは25%前後の来局者から質問等があり、職員の40%は負担を感じている。最終的には殆どの職員が今後がん検診啓発に携わることに前向きな意見をいただいたが、ある程度の質問に対応できる知識やQ&A集を作成することが必要だと思われた。また、がん検診への関心の薄い人達が大変多かったとの指摘もあり、定期的受診者が多いがん検診施設だけで感じていることとはかなり異なる実態であることを知ることができた。今後も薬剤師会にご協力をお願いしたいと考えている。

7. 結語

さいたま市乳がん検診・子宮がん検診において、相互の検診啓発を行うことと共に、薬局職員から来局者へ啓発活動を行った。本協働事業によって『非定期的受診者』の検診受診を促す効果がある可能性が示され、さらに継続して本協働事業を推進する意義が明らかになった。

8. 文献

1) 甲斐敏弘、他：対策型乳がん検診受診者を対象としたマンモグラフィ乳腺濃度（乳房構成）通知によるブレスト・アウェアネス啓発（パイロット研究）。令和5年度さいたま市地域医療研究費補助事業報告書。

https://www.city.saitama.lg.jp/005/001/002/p022426_d/fil/R5-1.pdf

2) 甲斐敏弘、菅又徳孝、尾本きよか、他：乳腺濃度（乳房構成）通知を契機としたブレスト・アウェアネス啓発。日本乳癌検診学会誌 33(2): 183-190, 2024.

3) 甲斐敏弘、菅又徳孝、齊藤毅、他：女性のライフステージにあわせた市民検診の利用

啓発～大宮医師会乳がん・子宮がん検診委員会協働事業～

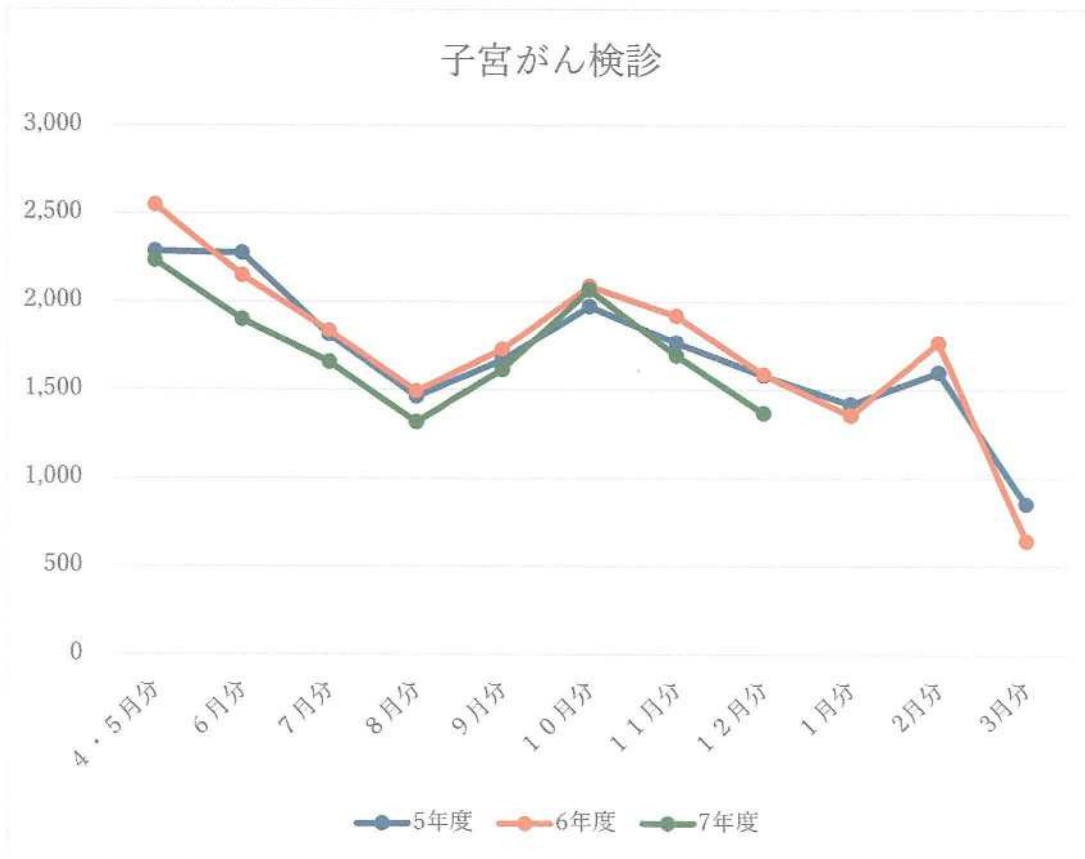
https://www.city.saitama.lg.jp/005/001/002/p022426_d/fil/R6-1.pdf

9. 図表（2025年度報告書（図表））

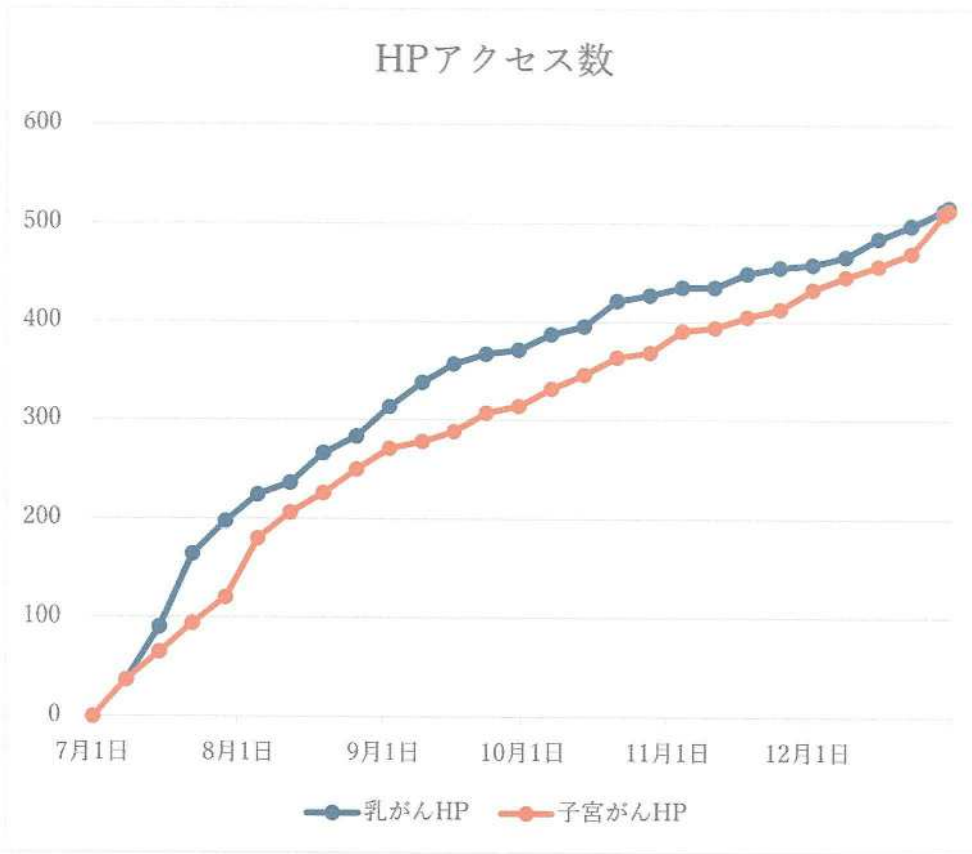
10. 別添資料（2025年度別添資料）



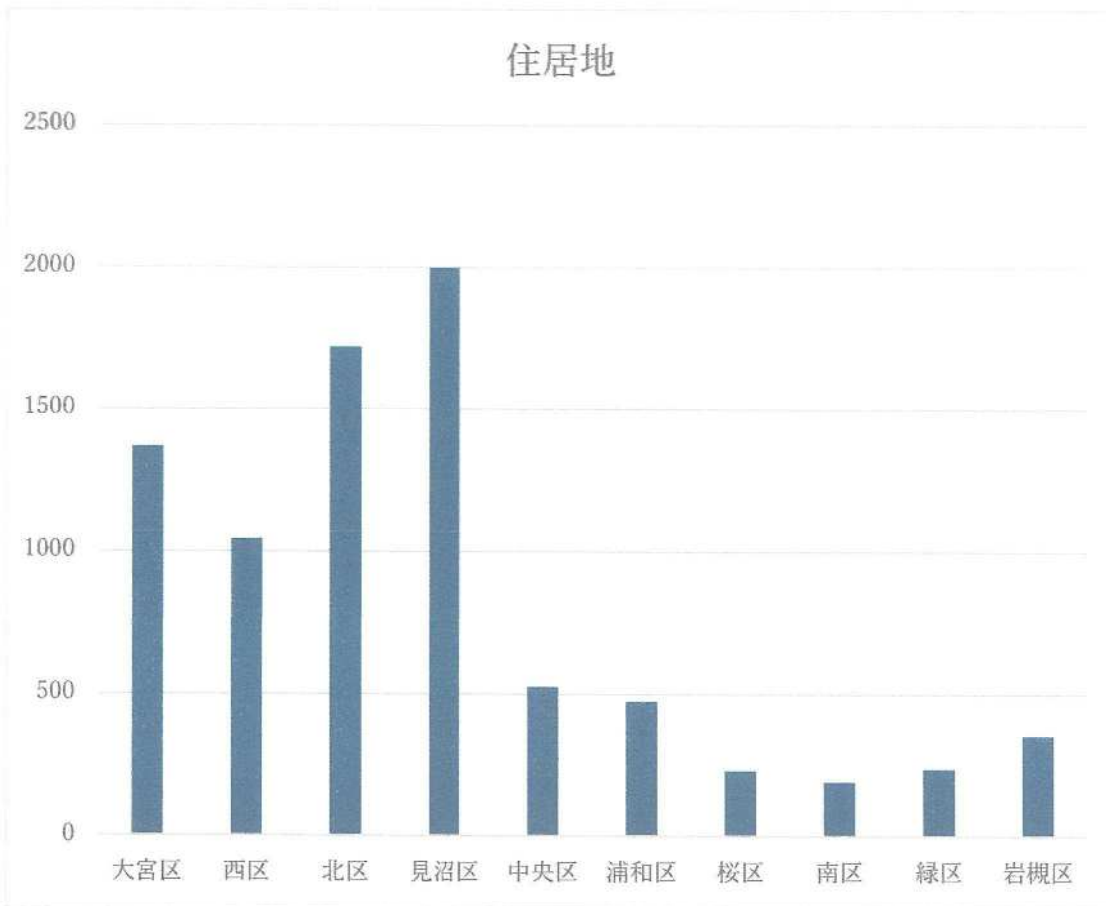
(図1) 月別乳がん検診受診者数 (2023~2025 年度)



(図2) 月別子宮頸がん検診受診者数 (2023~2025 年度)



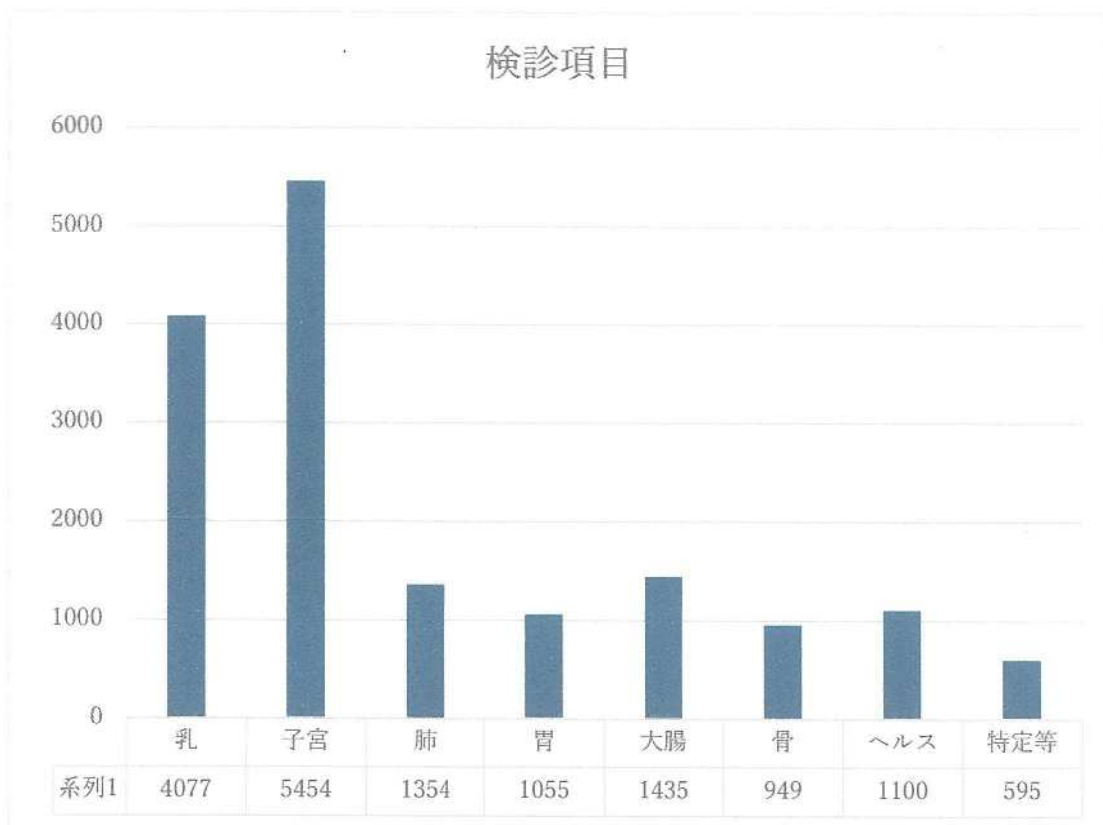
(図3) ホームページアクセス数、YouTube再生件数の推移



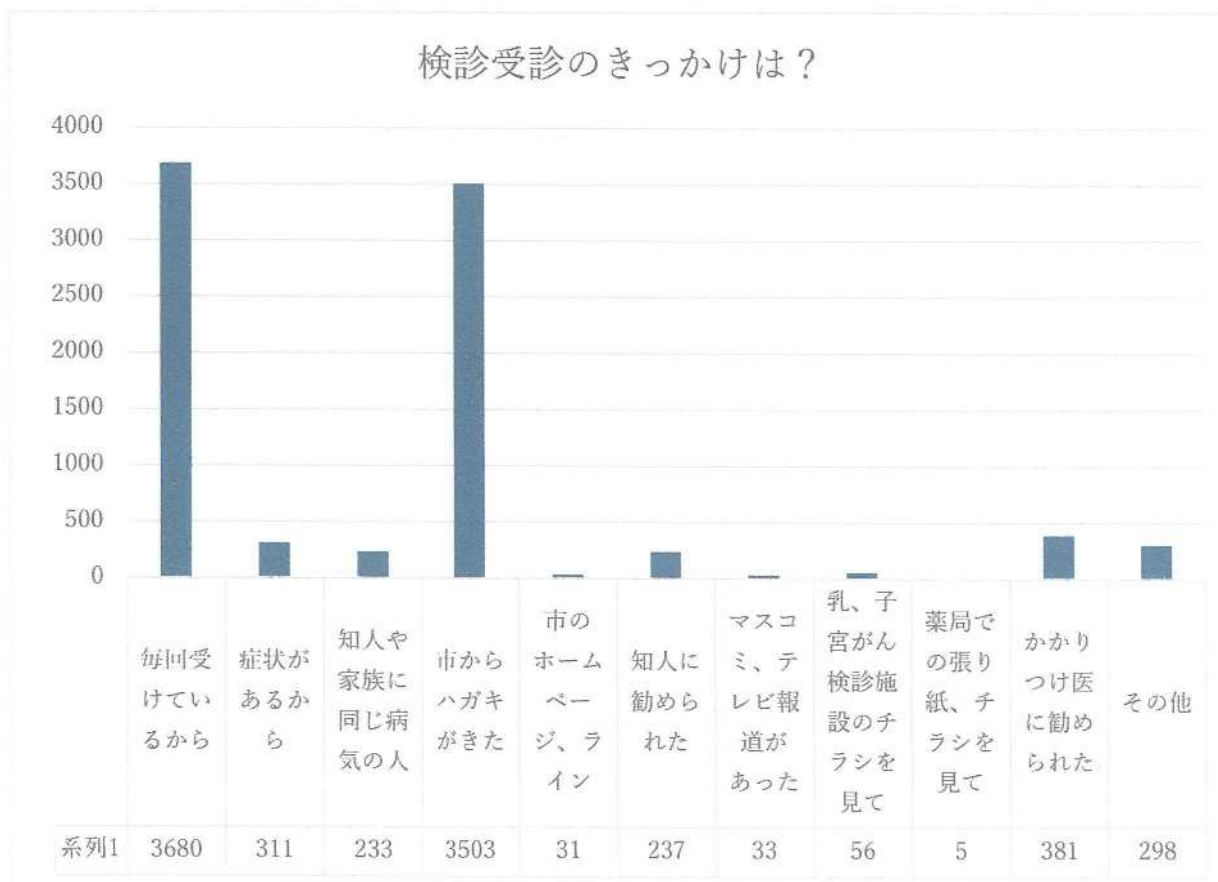
(図4) 住居地 (受診時アンケート)



(図5) 年齢分布 (受診時アンケート)

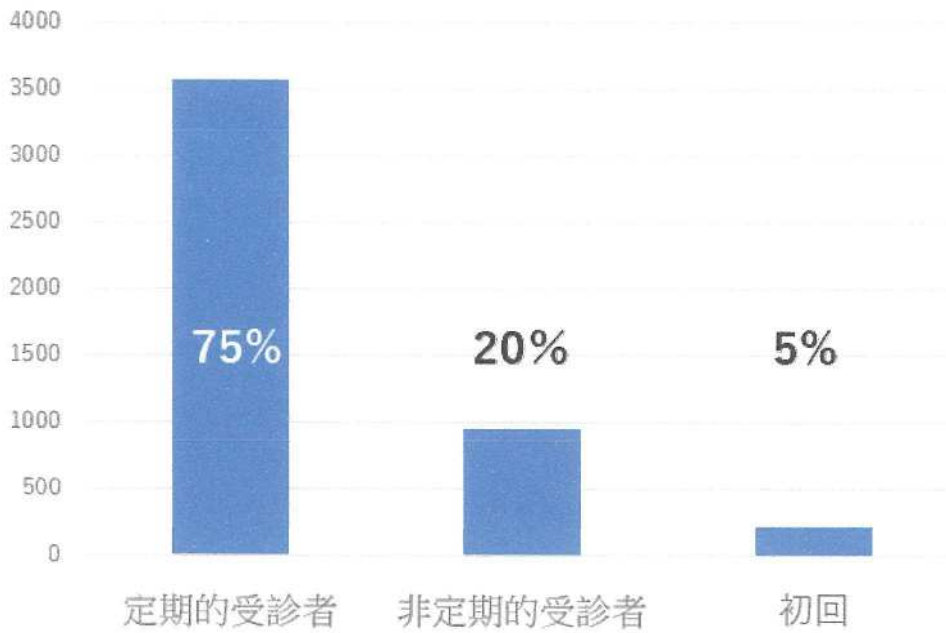


(図6) 検診項目 (受診時アンケート)



(図7) 検診受診のきっかけは？ (受診時アンケート)

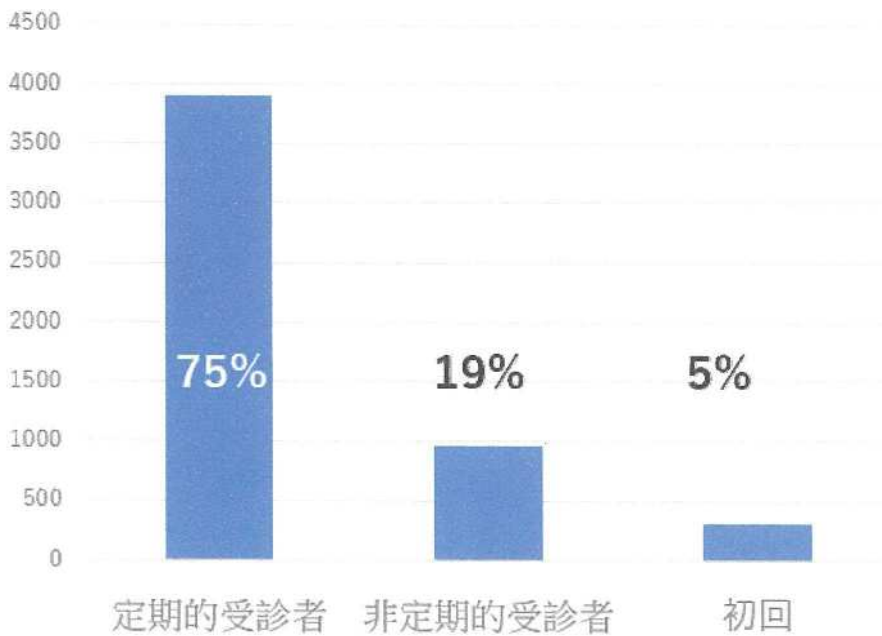
乳がん検診受診者



(図8) 乳がん検診前検査歴

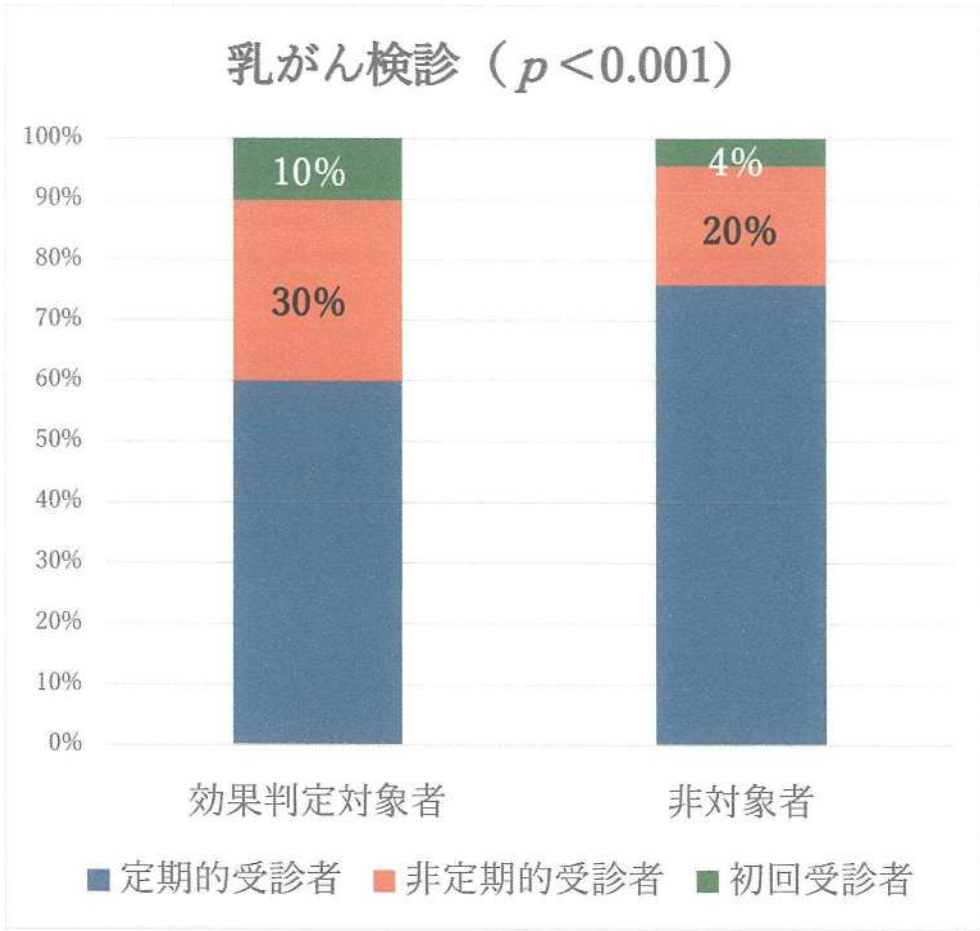
(定期的受診者 (1~2年前) vs 非定期的受診者 (3、4、5年以上前) vs 初回)

子宮がん受診者

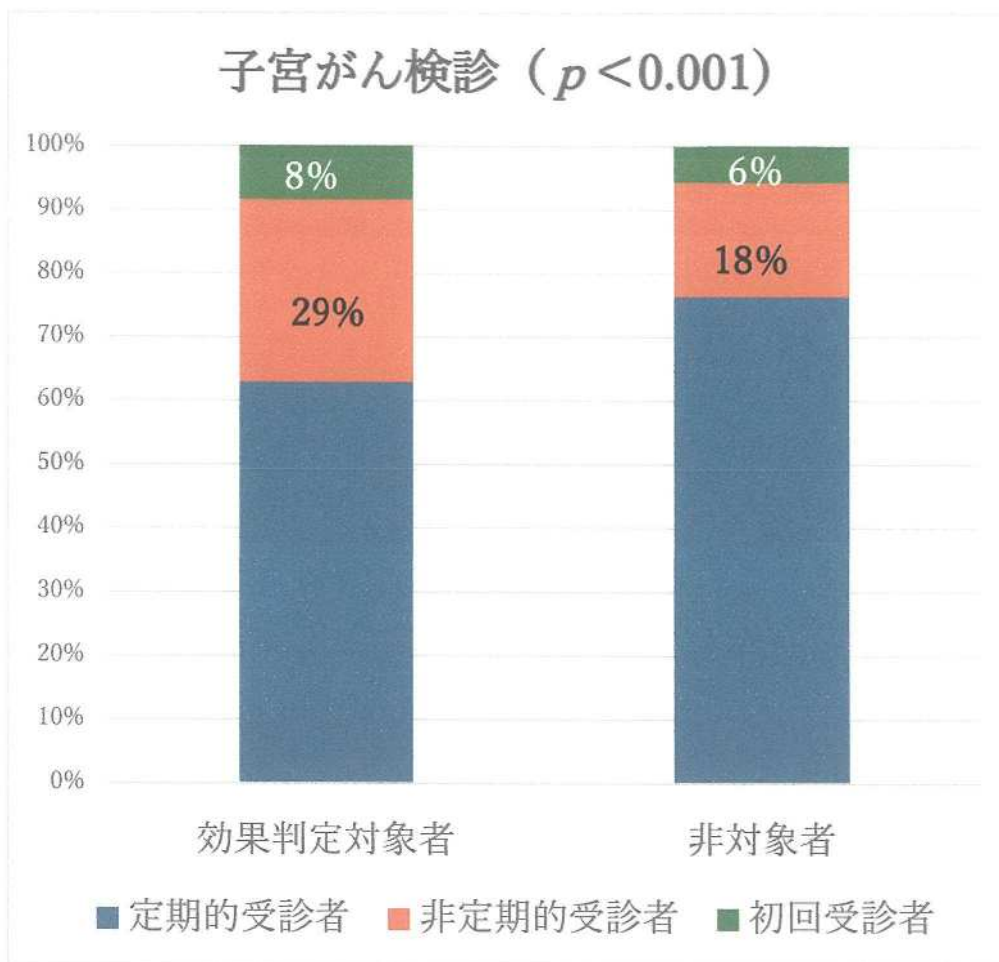


(図9) 子宮がん検診前検査歴

(定期的受診者 (1~2年前) vs 非定期的受診者 (3、4、5年以上前) vs 初回)



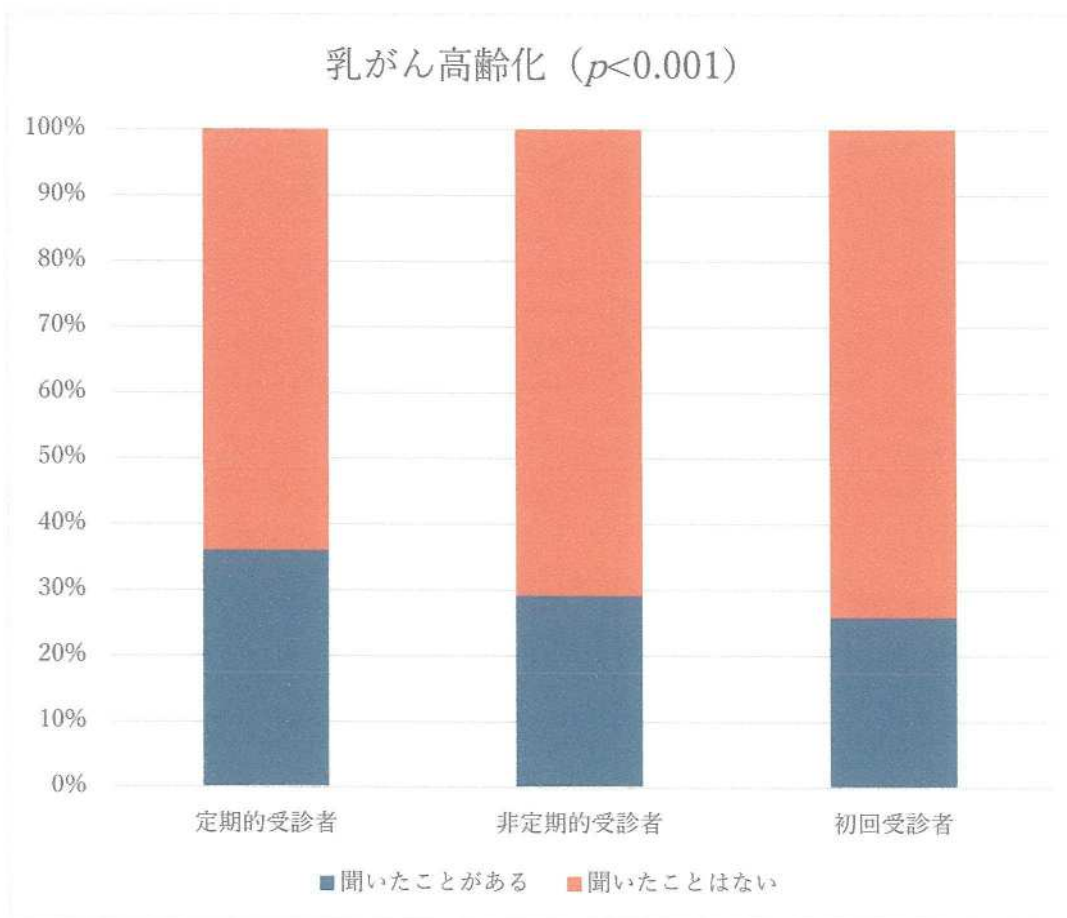
(図 10) 効果判定対象者の検討 (乳がん検診)



(図 11) 効果判定対象者の検討 (子宮がん検診)



(図 12) ブレスト・アウェアネスの認知度

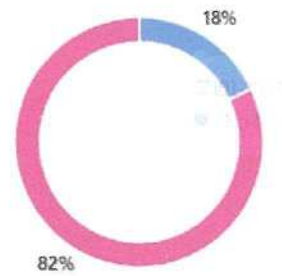


(図 13) 乳がんの高齢化の認知度

3. 受診者の方にアンケート調査を追加しておりますが、通常業務を圧迫していますか

圧迫している

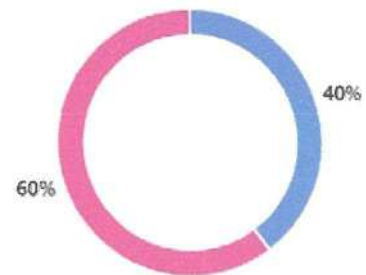
● 圧迫している	9
● 圧迫していない	41



(図 14) 検診施設職員アンケート

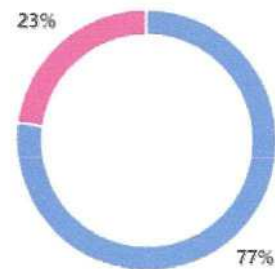
3. あなたが、小チラシを手渡しすることに負担はありますか？

● 負担を感じる	51
● 負担はない	77



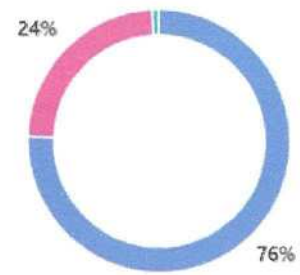
4. 来店者の方が、小チラシを受け取る時に何か反応がありますか？

● 特にない	98
● 多少問い合わせがある	29
● 問い合わせが多い	0



5. 小チラシの内容について質問を受けることがありますか？

● 質問はない	96
● 受けることがある	30
● 質問が多い	1



(図 15) 薬局職員アンケート

乳がんは

乳房のセルフチェックと

40歳からは2年ごとの乳がん検診で

早期発見、早期治療できる病気です

20歳から

ブレスト・アウェアネス

今までにない、

くぼみ、しこり、分泌物、違和感はありませんか？

- ◆ 自分の乳房の状態を知る
- ◆ 乳房の変化に気を付ける
- ◆ 変化に気づいたらすぐ医師に相談する

おすすめのタイミング

月に1回、月経終了後から4-5日後

月経不順、閉経後の方は毎月決めた日

着替えや入浴、シャワーの時など、鏡をみながらチェックします

40歳から

乳がん検診

40歳以上の方は2年に1回定期検診（マンモグラフィ検診）

大宮地区では毎年40人から50の方に乳がんが発見されています

60-70代から発症する方も増えています

異常がなくても検診を継続しましょう

もしも異常があると言われたら、必ず精密検査を受けましょう

乳がんは早期に発見すれば治る病気です

あなた自身のこと、もっと大切に



ブレスト・アウェアネス
YouTube



乳がん検診、ブレスト・アウェアネス
詳細と検診施設一覧はこちら



@OMIYA_JSHIKAI

大宮医師会 乳がん検診委員会

けい 子宮頸がんは

定期的な子宮がん検診で
早期発見、早期治療

HPV ワクチン接種で
予防することが

できる病気です

子宮に HPV (ヒトパピローマウイルス) が持続的に感染すると、子宮頸がんを引き起こす可能性があります

子宮頸がん検診

対象：20 歳以上の女性

*40 歳以上の方は
前年度未受診の方



HPV ワクチン

対象：小学 6 年生から
高校 1 年生相当の女の子
(定期予防接種)

17 歳以上の方もキャッチアップ接種や自己負担で接種することができます

大宮医師会 子宮がん検診委員会

あなた自身のこと、もっと大切に

生理前の不調や気分変動、疲れやすい、それは貧血や生活習慣病が原因かも？

- ◆18 歳から 39 歳の方は「女性のヘルスチェック」 **毎年無料**
- ◆40 歳から 74 歳の方は「のびのび健診」(特定健康診査) または「職場健診」

内容：血液検査 (貧血・糖尿病検査、コレステロール、肝臓・腎臓の機能)
問診、診察、身体測定、血圧測定 (のびのび健診は心電図検査もあります)

大宮医師会 特定健診委員会

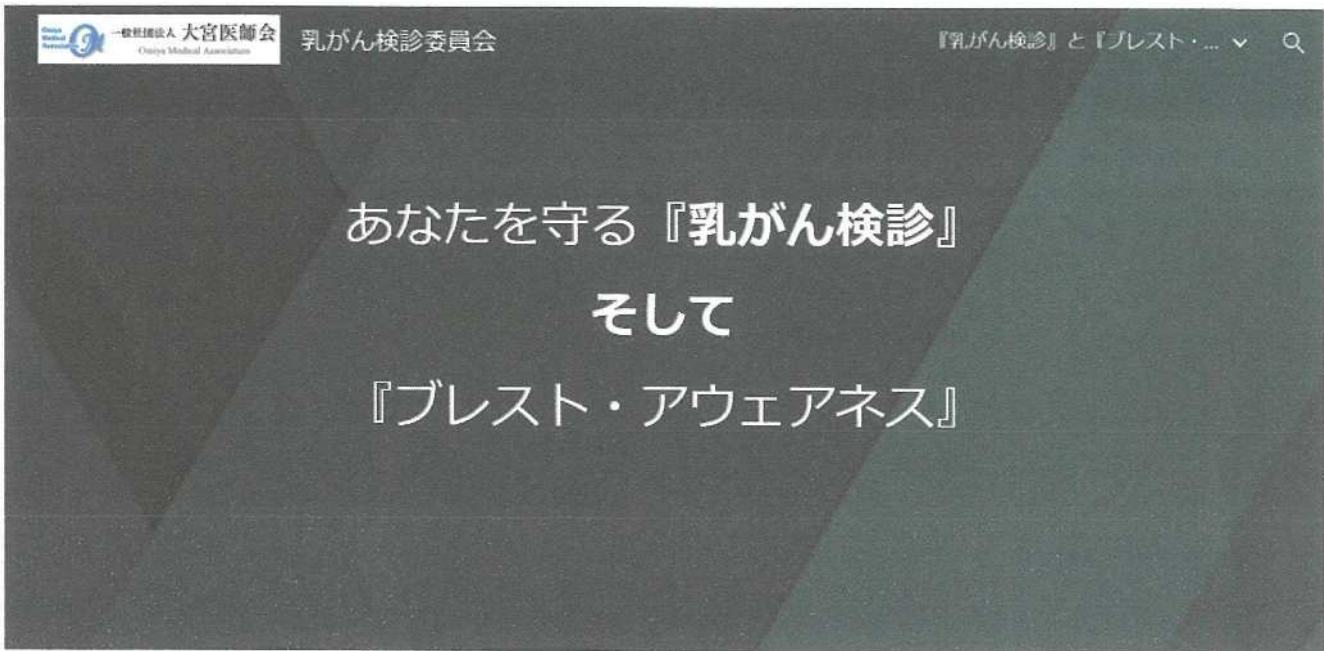
- 🌿 どこで検診できるかわからない 予約がなくても受診できる場所はある？
- 🌿 幼い子供がいて、なかなか受診できない！
- 🌿 婦人科の診察はちょっと抵抗がある・・・
- 🌿 ワクチンについてももう少し詳しく知りたい
- 🌿 ヘルスチェックって必要なの？

そんな疑問、質問の答えはこちらから→



OMIYA_ISHIKAI

(別添資料2) 乳がん検診 HP、子宮がん検診 HP それぞれのトップページ



女性では一番多いガンが「乳がん」です。9人に1人とされています。

そして「乳がん」にかかる人は、まだまだ増え続けています。

でも大丈夫。きちんと検診を受けていれば、助かるガンなのです。

大切なことは 定期的な『乳がん検診』と『ブレスト・アウェアネス』です。

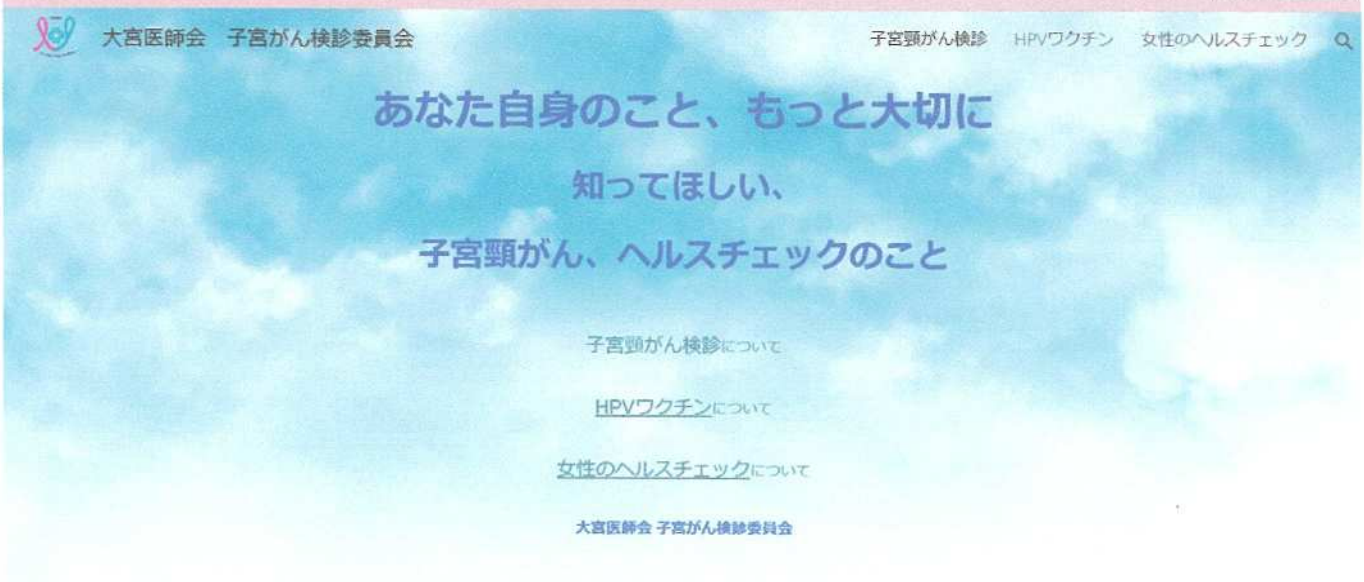
①

[＜そして最後にアンケートにお答えいただきたいと思います。⇒アンケート＞](#)



お急ぎ下さい！ 1997年4月2日から2006年4月1日生まれの方 子宮頸がんワクチンキャッチアップ接種を3回全額無料で受けるためには2024年11月未までに接種開始することが必要です

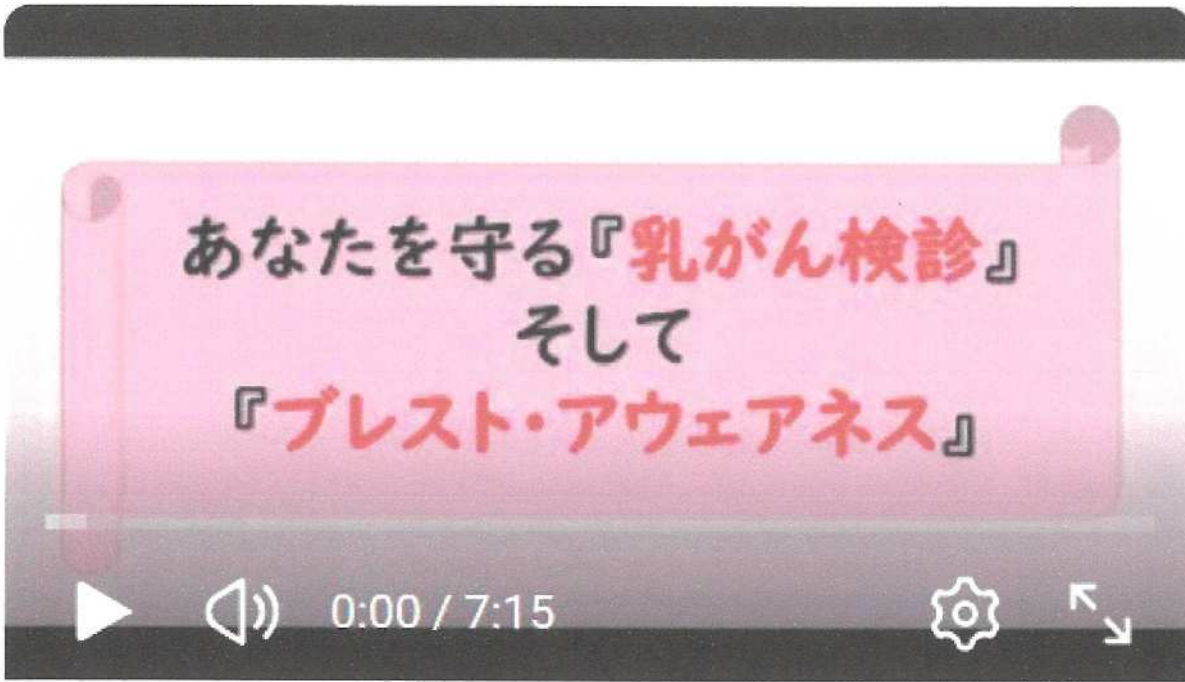
[詳しくはこちら](#)



①

さいたま市北区、大宮区、見沼区、西区にお住いの女性の「子宮頸がん検診」、「HPVワクチン」、「女性のヘルスチェック」に関する

(別添資料3) ブレスト・アウェアネス解説動画



動画リンク

https://youtu.be/wSa3v_EPXUc



(別添資料4) インスタグラム トップページ

Instagram

登録する ログイン



omiya_ishikai フォロー メッセージ

投稿15件 フォロワー32人 フォロー中10人

大宮医研会 乳がん子宮がん検診委員会
@ sites.google.com/view/omiya-breast-screening + 1

投稿 タグ付けされている人

子宮がん検診の Q&A

出血や痛みがないから検診はうけなくて大丈夫ですよね？

子宮がん検診の Q&A

HPV(ヒトパピローマウイルス) ワクチンを打ちました。検診は必要ですか？

(別添資料5) 受診時アンケート

市民検診受診の方へアンケート調査へのご協力をお願いいたします。←

さいたま市の市民検診(健診)をご利用いただきありがとうございます。いろいろ書類が多いところに恐縮ですが、アンケート調査へのご協力をお願いいたします。回答は○で囲っていただき、受付の方に提出してください。←

←

1 あなたの年代は? (○で囲ってください) ←

(2)20代 (3)30代 (4)40代 (5)50代 (6)60代 (7)70代 (8)80代以上←

2 あなたのお住まいの地区は? (○で囲ってください) ←

(1)大宮区 (2)西区 (3)北区 (4)見沼区 (5)中央区 (6)浦和区←

(7)桜区 (8)南区 (9)緑区 (10)岩槻区←

3 今回お受けになった検診(健診)項目は? (複数回答可) ←

(1)乳がん検診 (2)子宮がん検診 (3)肺がん検診←

(4)胃がん検診 (5)大腸がん検診 (6)骨密度←

(7)女性のヘルスチェック (8)特定健診等←

4 「乳がん検診」をお受けの方にお尋ねします ←

前回の乳がん検診(検査)または診療はおよそ何年前ですか?←

(市民検診、職域検診、自費検診、保険診療などどれでも) ←

(1)1年前 (2)2年前 (3)3年前 (4)4年前 (5)5年以上前 (6)初めて←

5 「子宮がん検診」をお受けの方にお尋ねします。

前回の子宮がん検診（検査）または診療はおよそ何年前ですか？

（市民検診、職域検診、自費検診、保険診療などどれでも）

(1) 1年前 (2) 2年前 (3) 3年前 (4) 4年前 (5) 5年以上前 (6) 初めて

6 今回、市民検診をお受けになるきっかけは？（複数回答可）

(1) 毎回受けているから

(2) 症状があるから

(3) 知人や家族に同じ病気の人がいるから

(4) さいたま市からのハガキがきたから

(5) さいたま市のホームページ、ライン

(6) 知人に勧められたから

(7) マスコミ、テレビ報道があったから

(8) 乳がん・子宮がん検診施設のチラシを見て

(9) 薬局での張り紙、チラシを見て

(10) かかりつけ医に勧められたから

(11) その他（ ）

7 以下の言葉を知っていますか？

A プレスト・アウェアネス

(1)聞いたことがある (2)聞いたことはない

B 60代以上で乳がんになる人が多くなってきたこと

(1)聞いたことがある (2)聞いたことはない

C HPV ワクチン (子宮頸がんワクチン)

(1)聞いたことがある (2)聞いたことはない

D 子宮頸がんは20代でも発症すること

(1)聞いたことがある (2)聞いたことはない

E 子宮頸がんはHPV ワクチン接種と定期的な検診で予防できること

(1)聞いたことがある (2)聞いたことはない

以上で終了です。ご協力を感謝いたします。

大宮医師会乳がん検診・子宮がん検診委員会



自分の未来のために 知ってほしい「がん」のこと

まずは検診に行ってみませんか。


乳がん検診

- ☑ 20歳からは、プレスト・アウェアネス
- ☑ 40歳から2年に1回の定期的な検診

子宮頸がん検診

- ☑ 20歳から毎年の定期的な検診
- ☑ 40歳から2年に1回の定期的な検診

乳がん・子宮頸がんを
気軽に知るためのイン
スタグラムを公開中



早期発見・早期治療のためには、
定期的に検診を受けることが大切です。


大宮医師会 乳がん検診委員会 / 子宮がん検診委員会 / さいたま市薬剤師会


自分のケアにがん検診を

一部のがんは、早期発見・早期治療をすると、
死亡率を減少させることができます。


女性で最も多い 乳がん 90%以上	女性で5番目に多い 子宮頸がん 90%以上
-------------------------	-----------------------------


それぞれの検診について、疑問などがある方は、
各分野の専門医が解説している
サイトをご覧ください。

 乳がん検診

 子宮頸がん健診

乳がんのセルフチェックについては
以下のサイトで解説しています。

 20歳からの
プレスト・アウェアネス



大宮医師会 乳がん検診委員会 / 子宮がん検診委員会
さいたま市薬剤師会

(別添資料7) 検診施設、薬局への説明会資料 2025年6月25日

2025-06-25

乳がん・子宮がん検診施設の皆様、
薬局・薬剤師の皆様へのご挨拶

乳がん検診委員会	子宮がん検診委員会	さいたま市薬剤師会	研究協力者
中野 隆弘	林 正樹	野田 政光	藤池 清貴
宮又 逸幸	上野 明代	長井部 忠久	
河野 敏	宇野 まさき	柳田 寛一	
成宮 まよか			
栗田 裕史			

1

乳がん・子宮がん検診施設の皆様、
薬局・薬剤師の皆様へのご挨拶

2025年度さいたま市地域医療研究員補助事業

女性のライフステージにあわせた市民検診の利用啓発
～大宮医師会乳がん・子宮がん検診委員会、
さいたま市薬剤師会協働事業～

2

乳がん・子宮がん検診施設の皆様、
薬局・薬剤師の皆様へのご挨拶

- ・本研究の目的
 - ・女性を対象とした「さいたま市がん検診等」の利用啓発
 - ・乳がん検診、子宮がん検診、プレスト・アウェアネス、女性のヘルスチェック、HPVワクチン接種、etc.
- ・より若い年代に伝えたいこと、高齢の方に伝えたいこと
- ・直接対面で、複数の医療機関から「きっかけ」
 - ・乳がん検診施設 — 子宮がん検診の啓発、HPVワクチン、等々
 - ・子宮がん検診施設 — 乳がん検診、プレスト・アウェアネス、等々

3

★

乳がん・子宮がん検診施設の皆様、
薬局・薬剤師の皆様へのご挨拶

- ・課題は検診に熱心でない人をどうするか
 - 「受けたことのない人」
 - 「めったに受けない人」
 - 「分かっているがたまたま何となく受けない人」
- ・薬局・薬剤師の皆様からの「後押し（ナッジ効果）」

4

★



同じポスターが薬局にも付

乳がん・子宮がん検診施設の皆様、
薬局・薬剤師の皆様へのご挨拶

2025年度さいたま市地域医療研究員補助事業

女性のライフステージにあわせた市民検診の利用啓発
乳がん検診委員会
子宮がん検診委員会
さいたま市薬剤師会

乳がん・子宮がん検診施設の皆様へのアンケート

この度は、本事業にご協力いただき誠にありがとうございます。さて、ご協力いただいている検診施設や薬局の職員の皆様（医師、薬剤師、事務職員など）にお気づきになった点を教えていただきたく存じます。簡単なアンケートですので、数分で回答は終了と思います。なお、ご回答はご施設名と職種のみ必須といたしますが、特に意見を取り纏めていただく必要はございません。どなたからでも、複数の回答でも構いません。

このフォームを送信する際に、お客様が、ご自身のお名前やメールアドレスなどの詳細情報を入力しない限り、その情報が自動的に取得されることはありません。

* 必須

1. ご施設名（必須）*

回答を入力してください

2. あなたの職種は？（必須）*

- 医師
- 薬剤師
- 看護師
- 事務職
- その他

薬局の皆様へのアンケート

この度は、本事業にご協力いただき誠にありがとうございます。さて、ご協力いただいている検診施設や薬局の職員の皆様（医師、薬剤師、事務職員など）にお気づきになった点を教えていただきたく存じます。簡単なアンケートですので、数分で回答は終了と思います。なお、ご回答はご施設名と職種のみ必須といたしますが、特に意見を取り纏めていただく必要はございません。どなたからでも、複数の回答でも構いません。

このフォームを送信する際に、お客様が、ご自身のお名前やメールアドレスなどの詳細情報を入力しない限り、その情報が自動的に取得されることはありません。

* 必須

1. ご施設名（必須）*

回答を入力してください

2. あなたの職種は？（必須）*

- 医師
- 薬剤師
- 看護師
- 事務職